# はじめに

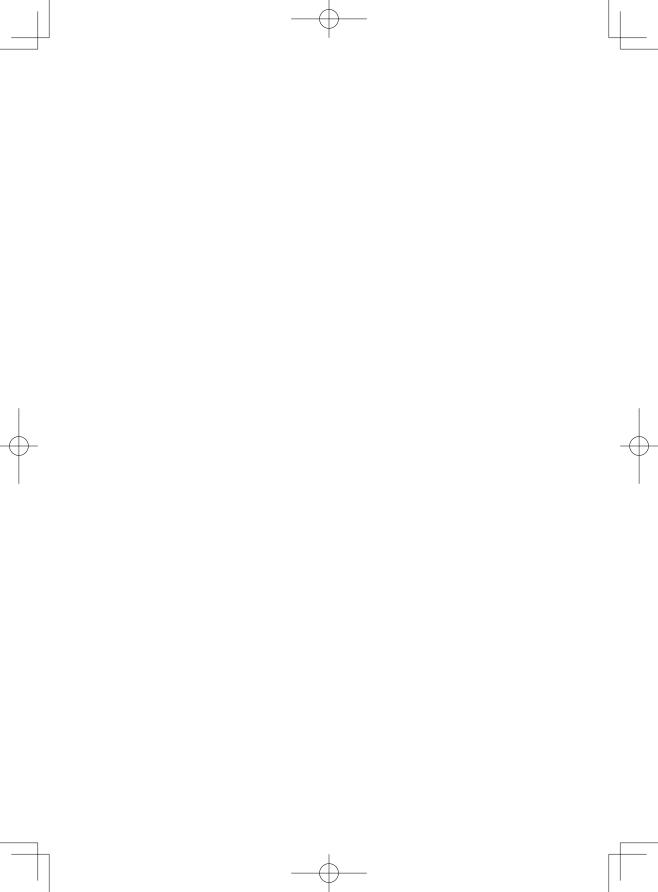
学校教育に関して12年間にわたり、企業と大学が密接に連携して取り組んだ共同研究というのは珍しいのではないでしょうか。共同研究の目的と枠組みを維持しつつ、人事異動によるメンバーの出入りがあっても、当初の理念を皆が共有し着実に活動を継続させるのは容易なことではありません。

2006年4月に始まる東京学芸大学・みずほフィナンシャルグループ金融教育共同研究プロジェクトを量的な側面から見ると、2017年夏時点で配布したテキストは16,000冊以上、実施した公開講座は12回(参加者1,185名)、出張授業400回以上(参加者約19,000名)、東京学芸大学に開設した金融教育の授業の履修者は10年間で1,110名。このほか教育委員会等による教員の研修会や講習会、広報誌「金融教育通信」の受信等々、このプロジェクトと接点を持った方々は膨大な数になります。

今、こうした共同研究プロジェクトの歩みを振り返ると、そこには「子どもと教師のための金融教育」の充実・発展を目指してきた教育研究としてのあしあとを認めることができます。しかし同時に、大学や学校の教員と企業の社員が時にぶつかりつつ、相互の理解と連携を深めてきた異文化交流としてのあしあとも認めることができます。そしてこれらのあしあとが、時に立ち止まりながらも歩幅と向きを揃えていたからこそ、教育研究を活性化し、12年間にわたる長い共同研究を実現できたことに改めて気づかされるのです。

これまでのあしあとを、いわば二つの物語として見直し、編み直すことは、 金融教育の発展にとっても、産学連携の進展にとっても意味あることではないでしょうか。そうした想いに駆られ、共同研究の締めくくりとなる本書を、 教育研究の面からだけでなく、それを支えた産学連携への取り組みという面からも振り返ってみようと思います。

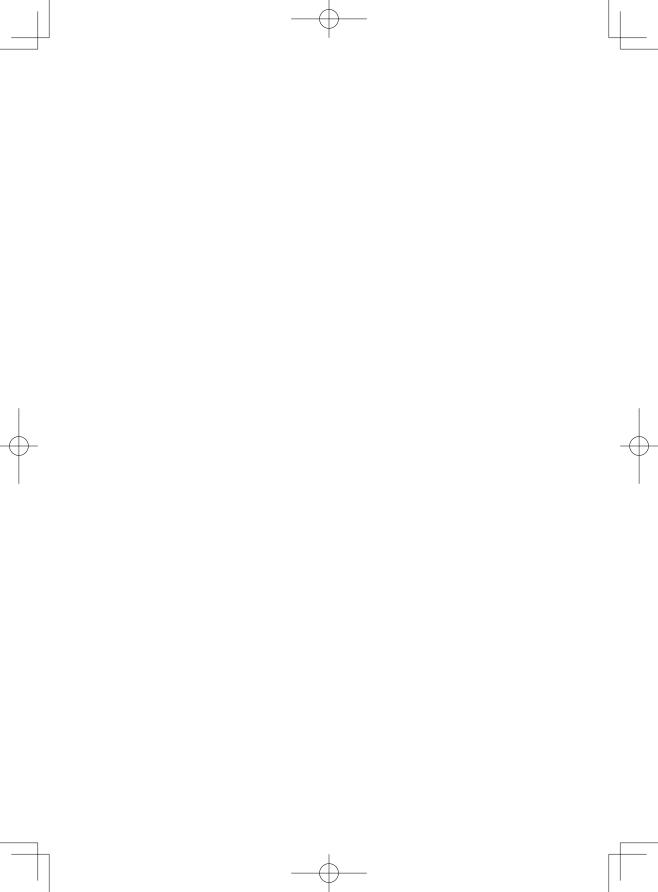
なお、本稿中の意見に関する記述は、執筆者の個人的見解に基づくものであり、所属する組織・団体を代表するものではありません。



目次/実践かり	ら考える金融教育の現在と未来	
はじめに		•
	<b>融教育共同研究プロジェクトの歩み</b> 澤克美・東條憲二	. 3
第1部	金融教育における取り組みと成果 1	13
第1章 子	どもの金融意識調査とカリキュラムの展望	14
第1節	子どもの金融意識調査 松尾直博・林安紀子 <sub>14</sub>	
第2節	意識調査を踏まえた金融教育カリキュラムの開発	
	大澤克美・大竹美登利・和井内良樹23	
第2章 多	様な子どもの現実と新たなテキストの開発	45
第1節	<b>テキストの開発</b> 大澤克美 ······45	
第2節	特別支援教育の観点を活かしたテキスト 伊藤友彦…51	
第3章 授	業実践に探るこれからの金融教育	62
第1節	<b>社会科の実践</b> 根本徹・古家正暢62	
第2節	<b>家庭科の実践</b> 佐藤麻子・大竹美登利・石津みどり・藤田智子72	
第3節	道徳科の実践 松尾直博・遠藤信幸・和井内良樹・	
	永田繁雄83	
第4節	キャリア教育の実践 眞鍋倫子93	
第5節	<b>特別支援教育の実践</b> 小金井俊夫 ······97	
第6節	<b>海外の実践</b> 鄭暁静・夏鵬翔 105	

第4:	草		融教 究 …														<b>動</b> ・115
	第1	節	家庭	科と	社会	科	との	連携	夷	大作	美	劉利	••••	••••	••••	• 11	5
	第2	節	ユニ	バー	-サル	レデ <sup>-</sup>	ザイ	ンの	)授	業	池月	引加多	奈子	•••	••••	• 12	1
第5	章	学習	<b>劉指</b>	導要	領(	の改	訂	と金	語	リ:	テラ	シー	-の	育成	<b>뉞</b> …	•••••	· 128
	第1	節	新し 永田	•••			-			-	_					• 12	8
	第2	節	新学 焦点													• 13	6
第2	2部	1	企業	の(	CSF	ع ٦	大	学等	争に	こお	ける	る教	(育)	実践	島		145
第6:	章			_							-						ቼ · 146
	第1	節	みず	゙゙ほフ	'ィヺ	トン:	シャ	ルク	ブル	ーフ	゚ゕゖ	<b>5</b> ]	東條:	憲二		• 14	6
	第2	節	大学	から	Д	山名泊	享	••••	••••		• • • • •	••••	•••••	••••	••••	• 15	3
第7:	章		<b>学に</b> k幸治														· 161
	第1	節	大学	生向	]けá	融	敗育	講象	隻の	開請	まとる	そのヨ	変遷		••••	• 16	1
	第2	節	現行	「学	芸フ	ロン	ァ	ィア	科目	<b>∄</b> D.	] の [	実際	と成	果	••••	• 16	6
第8:	章	金融	独機	関に	おし	ける	金i	融教	育	実記	钱	東修	憲二	<u></u>	••••	•••••	· 179
第3	3部	4	敎育	ہے <del>ک</del> ے	金融	の	観点	点が	6	探	る金	融	教育	うの	未	来	187
第9:	章		<b>独関</b> 条憲二														₹ · 188

第1		<b>教育関係者の立場から見た金融教育への課題と期待</b> 大澤克美・松尾直博・大竹美登利・伊藤友彦・永田繁雄・ 林安紀子
終	章	金融教育の新たな展開
第1篇		
		山名淳
	第2節	i インクルーシブな社会と金融教育 林安紀子 222
	第3節	i 金融教育の未来へ
		山名淳・東條憲二・大竹美登利・大澤克美・松尾直博・
		伊藤友彦
おわ	61 t-	2/9



実践から考える 金融教育の現在と未来

## おわりに

本書では金融機関と大学が密接に連携し、子どもたちの「生きる力」を育む金融教育のあり方を追求した軌跡を述べてきました。長期にわたり連携し、様々な成果を生むに至ったポイントは、異業種である両者が対話を続ける中で、金融教育の普及と質の向上を実現させるためには、「金融教育を学校教育に適切に展開するための具体的な方法を追求することが必要」という想いを共有したことにあると思います。

昨今、電子マネーに代表される新しい仕組みが登場し、子どもたちも手軽に「お金」を扱えるようになりました。また、今後も「FinTech (フィンテック)」と呼ばれる人工知能などの技術を使った革新的な金融サービスの拡大が期待されています。一方で、若年層が被害者となる金融犯罪も増加しています。そのため家庭や学校教育などの現場では、子どもたちにお金の大切さや基本的な仕組み、お金についての正しい知識を継続的に学んでいただくことが求められています。本プロジェクトで生み出された教材等が、その一助となれば幸いです。

最後になりましたが、東京学芸大学に関係する小・中学校、高等学校、特別支援学校など、附属学校の研究成果を生かした実践研究が行えたことも、本プロジェクトの重要な特色でした。ご協力いただいた附属学校の先生方、また、本プロジェクトに参加してくれた子どもたち、海外の協力学校や先生方、事務局メンバーなど、様々な場面でご支援をいただきました皆さまに、この場を借りて深くお礼を申し上げます。

また、本書の出版を快く引き受けていただいた下田勝司様はじめ、株式会 社東信堂の皆さまのご尽力に心より感謝いたします。

## 東京学芸大学・みずほフィナンシャルグループ

## 金融教育共同研究プロジェクトメンバー※今年度のメンバーは254頁に掲載

高野秀一

渡邉直子

【東京学芸大学関係】

及川研高橋直人久保田慶一田中理一郎田中敬文中尾俊明

中田正隆長友國男長谷川貞夫成瀬智沙子元川ゆかり橋村明彦

林敏朗【みずほ関係】原直己足立康徳廣瀬仁美

池田孝則 石川順一朗

受川修 【東京学芸大学附属学校等協力者】

ト部周子小倉勝登江川透小野恭子大石秀一喜多尾哲金子哲哉酒井やよい齊藤貴之清水保徳坂口琢也竹井秀文

坂口琢也竹井秀文佐古智明長谷川智大柴山裕樹藤田和美宿利敬文三浦佳

春原健二 吉野聡 (五十音順・敬称略)

# 成果物一覧

## [DVD]

□「銀行のお仕事 預金 貸出 送金 両替 4つのしごと」 製作 みずほフィナンシャルグループ コーポレート・コミュニケーション部 CSR推進室

監修 東京学芸大学 久保田慶一教授・大澤克美教授 2009年3月作成

②「金融教育の心得 職場体験受け入れ時の対応ポイント 社員視聴用」 製作 みずほフィナンシャルグループ コーポレート・コミュニケーション部 CSR推進室

監修 東京学芸大学 久保田慶一教授·大澤克美教授 2009年3月作成

#### 【Web サイト】

③ 金融教育 東京学芸大学と〈みずほ〉の共同研究 https://www.mizuho-fg.co.jp/u-gakugei/index.html 2007年1月から

## 【テキスト等】

- ④「お金のお仕事」2006年8月24日発行
- ⑤「小・中学生用 私たちのくらしとお金 用語集」 2007年3月7日発行
- ⑥「お金のお仕事 指導案」2007年12月7日発行
- [7]「はじめよう金融教育」 2008年6月19日発行
- 图「くらしとお金 お金はゆたかなくらしのパートナー」 2008年11月15日発行
- ⑨「職場体験受け入れハンドブック」(みずほ役職員向け) 2009 年度
- 回「考えてみよう これからのくらしとお金」DVD付 2011年4月1日発行
- □「考えてみよう これからのくらしとお金 授業ガイド」 2011年7月31日発行
- [20「考えてみよう これからのくらしとお金 【改訂版】」 2017年10月1日発行
- 図「考えてみよう これからのくらしとお金 授業ガイド【改訂版】」 2017年11月1日発行

#### 【報告書】

回「東京学芸大学とみずほフィナンシャルグループによる金融教育に関する共同研究 活動報告書(2006年度)」

2007年12月7日発行

[5] 東京学芸大学とみずほフィナンシャルグループによる金融教育に関する共同研究報告書」CD-ROM付き(内容:「お金の仕事」指導案6]、公開講座(2008年11月)指導案21)

2009年3月31日発行

[6]「東京学芸大学とみずほフィナンシャルグループによる金融教育に関する共同研究報告書2009年度~2011年度」

2012年3月31日発行

[IT]「子どもたちのお金・金融に関する意識とその発達に関する調査報告書(中間まとめ)」

2013年11月9日発行

[8]「東京学芸大学とみずほフィナンシャルグループによる金融教育に関する共同研究報告書2012年度~2013年度」

2014年3月31日発行

回 お金・金融に関する子どもの意識に基づく金融教育の授業構想—アンケート結果を踏まえたカリキュラム試案の検討—2014年度~2015年度」 2015年3月30日発行

② 「お金・金融に関する子どもの意識に関する日本・中国・韓国の比較調査 (中間報告書) 2015 年度~ 2016 年度」

2016年6月1日発行

20K韓国語訳版

20C 中国語訳版

20CA中国語訳版+海外調査協力校一覧(中国語)を追加したもの

#### 【公開講座配布用小冊子】

[21]「2008公開講座(東京)学校でとりくむ金融教育」

2008年11月15日

②「2010公開講座(東京)これからの金融教育を考える-新学習指導要領への対応と 金融教育テキストの活用-」

2010年11月20日

図「2011公開講座(東京)金融教育の可能性を探る-新しいテキストと授業支援DVD

2011年10月1日

図「2012公開講座 第9回 心とくらしを豊かにする金融教育」 2012年11月11日

② [2013公開講座 第10回 子どもの意識をふまえた金融教育の展開」 2013年11月9日

② 「2015公開講座 第11回 金融リテラシーを育む金融教育カリキュラムの検討ー アクティブ・ラーニングを重視する授業の研究ー」

#### 2015年11月14日

②「2016年公開講座 第12回 グローバル化と各国・諸地域で期待される金融教育 の構築 - 調査からみた東アジアの子どもの金融意識と授業実践 - 」 2016年11月12日

## 【その他】

- 図「金融教育通信」の発行2007年1月より (3か月ごと)
- 図「実践から考える金融教育の現在と未来 2018年1月発行

## 東京学芸大学・みずほフィナンシャルグループ 金融教育共同研究プロジェクトメンバー ※編集担当

#### 東京学芸大学

※大澤 克美(代表) 人文社会科学系/人文科学講座 教授

※松尾 直博(副代表)総合教育科学系/教育心理学講座 准教授

※大竹美登利 東京学芸大学名誉教授·特命教授

藤田 智子 総合教育科学系/生活科学講座 准教授

真鍋 倫子 東京学芸大学特命教授 鄭 暁静 東京学芸大学特命助教

※永田 繁雄 教職大学院 教授

※山名 淳 東京学芸大学特命教授 和井内良樹 東京学芸大学特命准教授

※伊藤 友彦 総合教育科学系/特別支援科学講座 教授

林 安紀子 教育実践研究支援センター 教授

夏 鵬翔 (研究協力者) 首都師範大学 初等教育学院 副教授

## みずほフィナンシャルグループ

※東條 憲二(副代表)コーポレート・コミュニケーション部 CSR推進室長 大貫 敬太 コーポレート・コミュニケーション部 CSR推進室 参事役

#### みずほ総合研究所

手島 降之(副代表)上席執行役員人材育成事業部長

木村 迅人 人材育成事業部 金融法人教育グループ長

清水 幸治 人材育成事業部 金融法人教育グループ 調査役

#### 東京学芸大学附属学校および東京都公立学校協力者

根本 徹 附属小金井小学校 教諭 牧岡 俊夫 附属小金井小学校 教諭

古家 正暢 附属国際中等教育学校 教諭

上園 悦史 附属竹早中学校 教諭

石津みどり 附属小金井中学校 教諭 佐藤 麻子 元附属小金井中学校 教諭

阿部 睦子 附属高等学校 教諭

遠藤 信幸 附属小金井小学校 教諭

幸阪 創平 東京都杉並区立浜田山小学校 主任教諭 庄子 寛之 東京都世田谷区立池之上小学校 主任教諭

小金井俊夫 附属特別支援学校 副校長 小島 啓治 附属特別支援学校 小学部主事

松本 晃 附属特別支援学校 教諭

池尻加奈子 東京都立清瀬特別支援学校 主任教諭

## 実践から考える金融教育の現在と未来

2018年1月25日 初版第1刷発行

〔検印省略〕

定価はカバーに表示してあります。

東京学芸大学・みずほフィナンシャルグループ 金融教育共同研究プロジェクト

編者代表①大澤克美・松尾直博・東條憲二 発行者 下田勝司 印刷・製本/中央精版印刷

東京都文京区向丘 1-20-6 郵便振替 00110-6-37828 〒 113-0023 TEL (03) 3818-5521 FAX (03) 3818-5514

<sup>発行所</sup> **左**東信堂

Published by TOSHINDO PUBLISHING CO., LTD. 1-20-6, Mukougaoka, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0023, Japan E-mail: tk203444@fsinet.or.jp http://www.toshindo-pub.com

**ISBN978-4-7989-1473-2 C3037** © K. OSAWA, N. MATSUO&K. TOJO